

令和6年度 第1回 飯山市地域公共交通会議 顛末

令和6年6月5日（水）13時30分～14時30分
飯山市役所 4階 全員協議会室

1 開会（進行：総務部長）

2 会長あいさつ（市長）

当会議において策定した「飯山市地域公共交通計画」に沿って、「行動実態に合った運行ダイヤの見直し」や「理解しやすい路線図・時刻表の作成」といった取り組みを進めてきた。

課題は多いが、事務局の方からできるだけ簡潔に、ご理解をいただくことを旨として説明をさせていただくので、ぜひご意見や忌憚のないご提案などいただきたい。

※会長あいさつ終了後、事務局から前回の会議から変更があった委員の紹介。

その後、会議の概要を規約に沿って説明。

3 報告事項（進行：総務部長）

飯山市地域公共交通計画に係る進捗状況について 資料1

※資料1について事務局より説明

質疑応答

（副会長）資料1の7ページ「公共交通に係る目標値・現況値」のところで、コミュニティバス利用者1人当たりの運行に係る経費の部分について、令和4年度と令和5年度を比べると令和5年度の方がコミュニティバスの利用者が増えていると思うが、1人当たりの運行経費も増えているのは何故か。目標値の根拠のところに、運行経費を令和2年度と同程度とした上で計算する、と書いてあるので、運行経費が同じと考えれば利用者が増えれば少なくなると思うが、どのような計算になっているのか。

（事務局）令和5年度の現況値は、同年度にかかった運行経費をコミュニティバスの利用者数で割って算出した。算出方法について今一度確認する。

～以下事務局より追記～

こちらの記載は、令和8年度の目標値の算出根拠として令和2年度の運行経費を用いた、という意味であるため、現況値については当該年度の運行経費÷利用者数で算出している。

4 協議事項（進行：会長）

（1）地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統補助）

に係る計画の承認について

・・・・・・・・資料 2

※資料 2 について長電バス(株)より説明

質疑応答

（副会長）2点ほど伺いたい。まず野沢線だが、昨年度の目標値が17.7となっていた。今年度は19.9に設定させているが、便数は変わっていないと思うので利用者が増加したという理解でよろしいか。

（長電バス）その通りである。学生の利用者数が若干増えたため、それを反映し19.9とさせていただいた。

（副会長）もう1点、中野木島線の新規車両の取得計画についてご説明いただいたが、昨年度もこのタイミングで同じ中野木島線において、2024年9月導入予定で計画を出していたかと思うが、同じ路線で新たに車両の取得が必要になったということか。

（長電バス）その認識で間違いない。2台の車両が相当古くなっているため、2年続けて更新する計画になっている。

（会長）他にご意見等なければ、異議なしでよろしいか。＜異議なし＞

⇒承認

（2）地域公共交通確保維持事業（地域内フィーダー系統補助）

に係る計画の承認について

・・・・・・・・資料 3

※資料 3 について事務局より説明

質疑応答：特になし

（会長）異議なしでよろしいか。＜異議なし＞

⇒承認

5 その他

（委員）乗り合いタクシーの新たな運行方法について、今後実証実験を行うというような話があったが、全国の自治体ではAI デマンドを取り入れた結果、タクシー事業者が倒産してしまったところがある。安価でドアツードアで運行してくれるデマンド交通があれば、

普通はタクシーではなくそっちを利用することになる。タクシー利用者が少なくなった結果、タクシー事業者が衰退してしまい全国的に倒産しているところもある、ということをご承知いただきながら、金額設定や運行方法、どこの地区で、会員を誰に絞るかなど、自治体と運送事業者が一緒になって検討して取り組んでいただきたいと思います。一切駄目ということではなく、使いやすいAI デマンドができれば良いと思っている。

(事務局) 全国でもそういった事例があることは承知している。先ほどご説明させていただいた通り、交通事業者の皆様と連携し、話し合いをさせていただく中で、この地域にとってどのような乗り合いタクシーの形が理想的なのか、実証実験を通して検討していきたいと考えている。特段市の方で一気に進める予定ではなく、地域の交通事業者の皆様と話し合いをさせていただきながら進めていきたいと思う。

(会長) 事業者の方々のご苦勞をきちんと把握して、そして維持していけるようにすることはもちろん大切です。しかし、それと同時に地域が衰退しないようにするということは、行政にとって非常に重要な課題でございます。そしてこの会議は、地域公共交通会議でありますので様々な困難がありますが、実証実験は皆様のご協力をいただきながら着実に確実に進めていきたいと思っています。

(副会長) 冒頭にご説明いただいた、地域公共交通計画の実施スケジュールのところでは、今年度中間報告や評価を実施するタイミングになるかと思うが、その辺りについてどういう方法を検討されているのか教えていただきたい。

(事務局) 令和6年度については、今お話があったように中間報告として今までの評価をしながら、今後の事業実施に向けて検討を行う年でもある。そのように今年度を捉えているので、12月には必ず地域公共交通会議を再度開かせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(事務局) 最後に情報提供で、コミュニティバス斑尾線の車両2台のうち1台について、老朽化が進んでいるため、今年度買い替えをする予定である。年度内には使用できるよう進めているので、ご承知おきいただきたい。

6 閉会 (14:30)